

自然の家の危ない生き物

★四日市少年自然の家には様々な生物が生息しています。特徴を理解して事前に対策しよう！
 ★活動野外で活動するときは白っぽい長袖、長ズボン、帽子を着用しよう！

写真	内容
	<p>スズメバチ <特徴> ・活動が活発な時期は7月から10月。攻撃性が強いのは体長4cmのオオスズメバチと2～3cmのキイロスズメバチ。 <さされたら> ・刺されるとすぐに腫れ上がったり、激しく痛んだりするのですぐ医師の診察を受ける。応急処置としてはすぐに傷口を流水で洗い流す。また、傷口をつまんで、毒を押し出すようにするのもよい。 <さされないために> ・スズメバチを見つけたら、すぐその場を離れる。 ・黒色に対して攻撃性が強いので、白っぽい服や帽子を着用する。</p>
	<p>ヤマビル <特徴> ・大きさは1.5～4cm。活動時期は4～11月。気温や湿度が高いほど活発に活動する。吸血時にはほとんど痛みはない。 <かまれたら> ・分泌液を水や消毒液でよく洗い流して止血し、傷を保護する。体質によってはかゆみ、膿がみられることがある。 <かまれないために> ・少しのすきまでも入り込むので、長袖・長ズボン・靴下を着用し、ズボンのすそを靴下に入れたり長靴をはく。靴や靴下に酢をふりかけておくのも効果がある。市販のヒルよけスプレーもあるが、使用には十分に注意する。</p>
	<p>マダニ <特徴> ・体長は3～8mmで、時期は3月～11月。草むらややぶの中にいる。長時間（数日～10日間以上）吸血するが、かまれたことに気がつかない場合も多い。かまれると感染症にかかる可能性があるので十分注意する。 <かまれたら> ・無理にとろうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置をしてもらう。 ・数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状がでたら医療機関で診察を受ける。 <かまれないために> ・長そで、ズボン、手袋等を着用し、肌の露出を避ける。屋外活動後は入浴し、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがマダニに咬まれていないか確認する。</p>
	<p>ムカデ <特徴> ・大きさは8～13cm、暖かい場所と湿気が大好きで、梅雨時は特に活発になる。夜行性で、日中は草むらや落ち葉の下などに潜んでいる。エサを求めて建物の中へも侵入する。かまれても致命傷になることはほとんどない。 <かまれたら> ・かまれると激しい痛みがあり、赤く腫れてくる。まず患部の毒を絞りだしながら、水で冷やして洗い流す。抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を塗り、腫れがひかない場合は、なるべく早く専門の病院へ行く。 <かまれないために> ・日中は主に草むらや、落ち葉や石の下などに潜んでいるので、注意する。 ・長そで、ズボン、手袋等を着用し、肌の露出を避ける。</p>

写真	内容
	<p>毒蛇の仲間 <特徴> マムシ…体長は40～70cm。太くて短い。やや三角頭。背中に銭型模様ある。草むらや岩の間などの湿ったところに潜んでいるが、攻撃性は弱く、あやまってふんでしまったり、つかんだりしなければかまれることはない。(50cm程度離れていれば大丈夫。) ヤマカガシ…体長は60～120cm。細くて長い。黒や赤のまだら模様や、模様がなく全身緑がかった個体もいる。陸だけでなく水辺で活動することも多い。マムシより強い毒をもつ。 <かまれたら> 激しい痛みがあり、傷口と皮下から出血して腫れ上がる。次のことに留意する。 ・出来るだけ早く医療施設に連れて行く。 ・患者を休ませる。 ・かまれた局部を動かさない。 ・患者を安心させる(数時間たっても、血清は有効に使える)。 <かまれないために> ・長ズボンやくつで足元を守る。 ・不用意に草むらや岩の間に手や足を入れない。 ・見かけたら、つかまない! かまわない! その場から離れる。</p>
	<p>毛虫の仲間 <特徴> チャドクガ…ツバキ、サザンカ、チャなどツバキ科の植物に発生する。幼虫(毛虫)は、体長約25mmで年2回、4～6月と8～9月頃に発生する。卵から成虫まで、微細な毒針毛(約0.1mm)を持っている。さわったり、風で飛散したものが皮膚につくと、かゆみの強い皮膚炎を起こす。かゆみをともなって赤く腫れ、1日～2日後にかゆみの強い赤い発疹ができ、かゆみは2～3週間続く。かゆみのある部分を掻くと直接触れなかった部分にも被害が拡大するので注意する。 イラガ…幼虫は体長約20mmでサボテンのような見た目、トゲに触れると電気が走ったような痛みを感じ、その後皮膚炎を起こす。幼虫は、カキ、サクラ、クリ、ケヤキなどに7～10月頃に発生する。 <さわったら> ・セロハンテープなどの粘着力のあるもので周辺をそっと押さえて、毒針毛をとりさる。その後、強い流水で洗い流す。薬は抗ヒスタミン軟膏、抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を使用する。水ぶくれになったり、被害範囲が広い場合は皮膚科を受診する。 ・目に入った場合は、水で十分に洗い流した後、眼科を受診する。 <かまれないために> ・長そで、ズボン、手袋等を着用し、肌の露出を避ける。</p>
	<p>ウルシの仲間 <特徴> ヤマウルシ…軸は赤みを帯び、葉が傘をさしているような形になる。葉は卵形で先が細長くとがる。秋に葉が鮮やかな赤色に紅葉する。 ツタウルシ…葉は1つの軸から3枚に分かれる。秋に赤く紅葉する。ウルシ科の中で1番強いかぶれ成分があるといわれる。触るとアレルギー性接触性皮膚炎をおこしやすい。敏感な人は近くを通っただけでもかぶれをおこすことがある。 <かぶれたら> ・接触後、数時間から1～2日後に遅れて発症することが多く、かぶれた後に発赤、激痛を伴う場合がある。 ・触ったら、かぶれ成分が付着してる患部を、石けんを用いてよく洗浄する。 ・被害範囲が広い場合は皮膚科を受診する。 <かぶれないために> ・見つけたら、近づかない、触らない。 ・長そで、ズボン、手袋等を着用し、肌の露出を避ける。</p>

★危険な生物に注意して、自然体験を楽しんでください。

★刺されたり、かまれたり、触ったりしたら、適切な対応をお願いします。